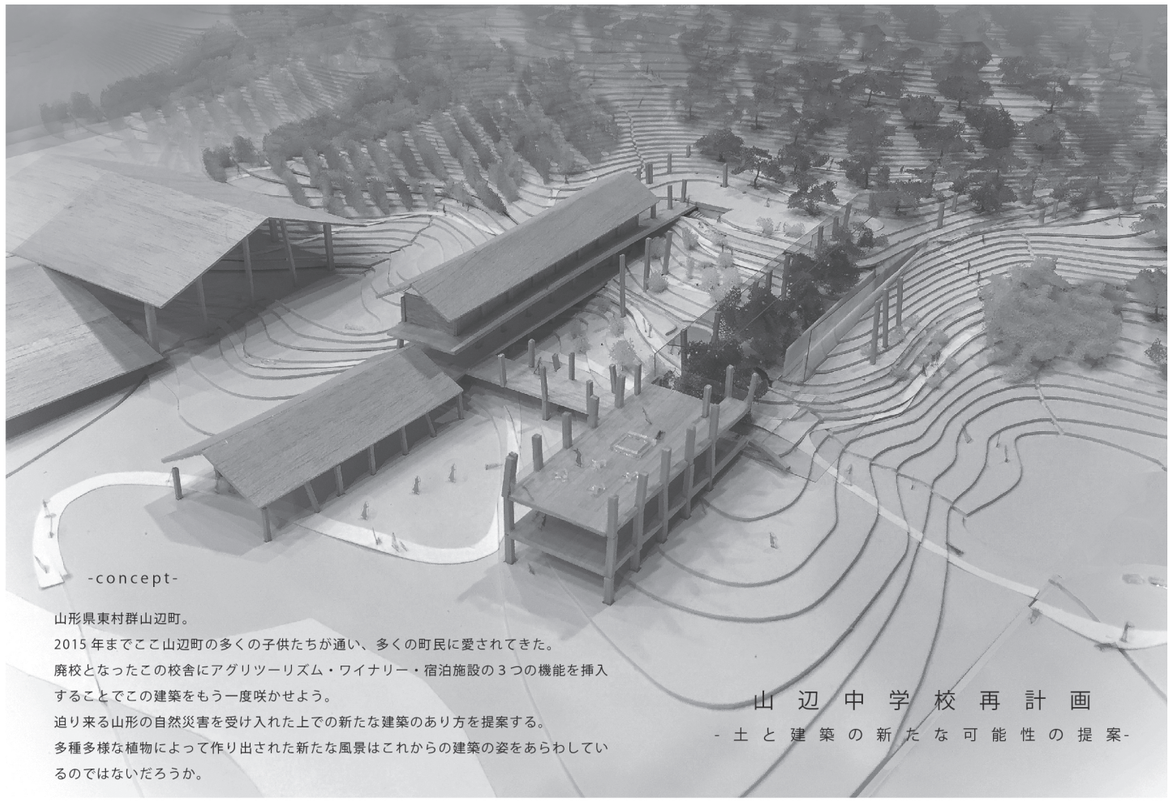


山辺中学校再計画

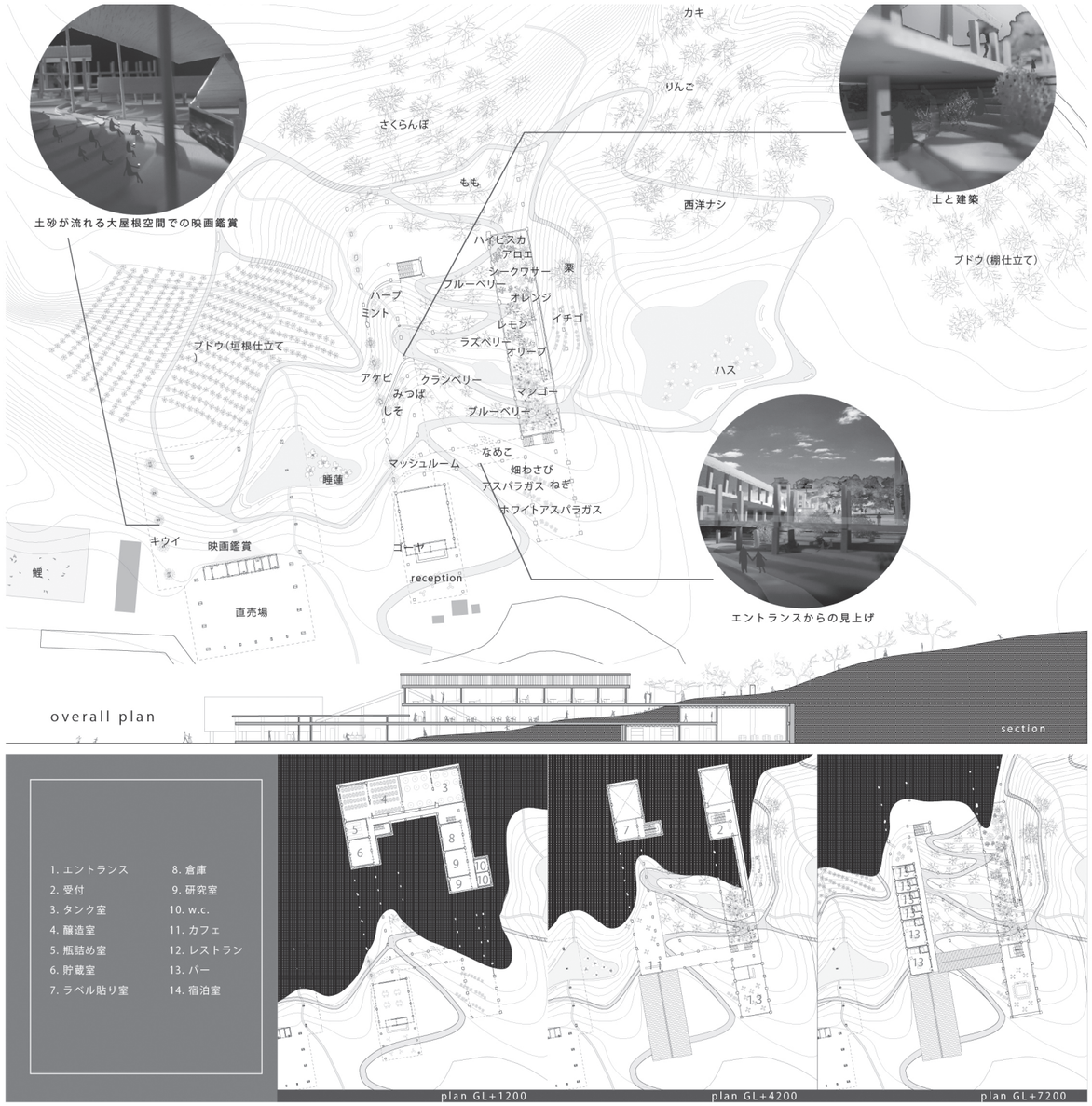
-土と建築の新たな可能性の提案-

-concept-

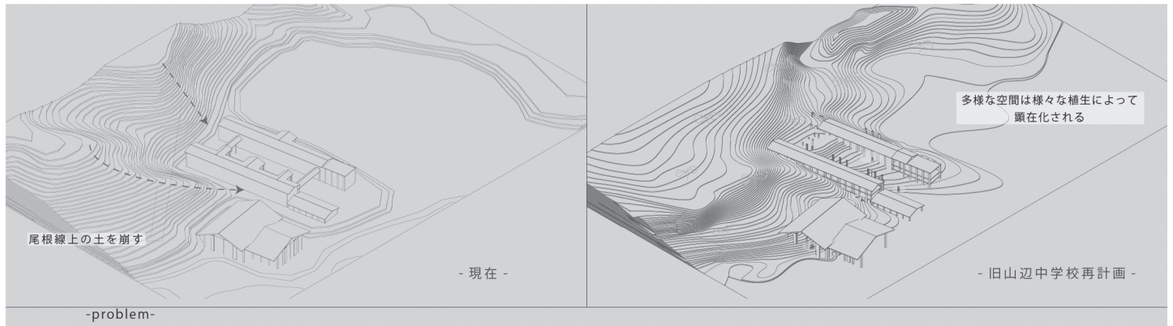
山形県東村群山辺町。
2015年までここ山辺町の多くの子供たちが通い、多くの町民に愛されてきた。
廃校となったこの校舎にアグリツーリズム・ワイナリー・宿泊施設の３つの機能を挿入することでこの建築をもう一度咲かせよう。
迫り来る山形の自然災害を受け入れた上での新たな建築のあり方を提案する。
多種多様な植物によって作り出された新たな風景はこれからの建築の姿をあらわしているのではないだろうか。

土砂が流れる大屋根空間での映画鑑賞

土と建築



エントランスからの見上げ



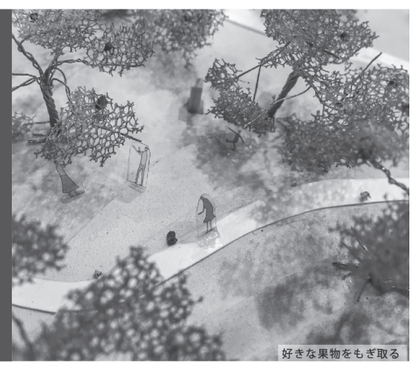
-problem-

1. 校舎の一部が崖に隣接し、土砂災害警戒区域に指定されている
2. 築50年の建物であり、耐震未補強であること

→ そこで、校舎の裏山をあらかじめ崩すことで、自然災害を受け入れた上で旧校舎の存続を図る

1 果樹園

様々なフルーツをもぎ取ったその場で食べることができます



好きな果物をもぎ取る

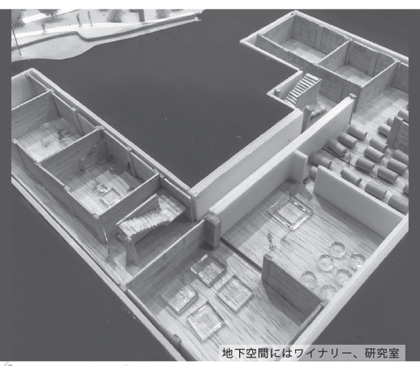
plant elevation

ブルーベリー　ラズベリー　クランベリー　モモ　さくらんぼ　ハイビスカス　アロエ　シークワサー　オレンジ　レモン

1. エントランス
2. 受付
3. タンク室
4. 醸造室
5. 瓶詰め室
6. 貯蔵室
7. ラベル貼り室
8. 倉庫
9. 研究室
10. w.c.
11. カフェ
12. レストラン
13. バー
14. 宿泊室

2 アグリツーリズム

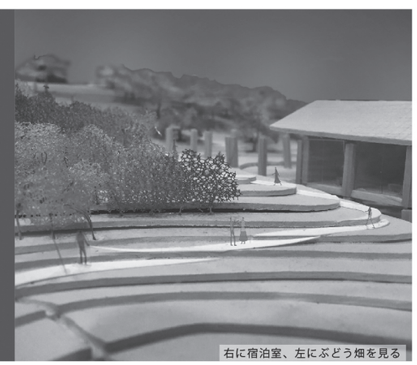
都会からの若者は地元の人々に教えてもらいながら農業体験、また農業研究も可能です



地下空間にはワイナリー、研究室

3 宿泊

宿泊室もあり、窓からはぶどう畑が一望できます



右に宿泊室、左にぶどう畑を見る

オリーブ　マンゴー　栗　カキ　りんご　西洋ナシ　ウメ　ブドウ（棚仕立て）　キウイ　ハーブ　ブドウ（垣根仕立て）